

令和6年度第1回「鳴門病院を良くする会」ご意見の概要

令和6年8月26日開催

良質かつ適切な医療の提供について

患者の視点に立った医療の提供

人材の確保について

- ・医療人材の確保が困難な中、令和6年度46名の医師を確保、また研修医についても3名確保。

選ばれる病院となるには、やはり接遇が大事である。

- ・各専門医の先生がいるから大丈夫と「安心・安全」の信頼を集める病院であってほしい。

- ・受付～診察までの待ち時間が長いと聞く。実際どれくらい時間がかかっているのか、長いようであれば改善していただきたい。

- ・臨床研修看護師制度の実績、効果等について。

- ・患者満足度調査結果によると、外来・入院とも7階の食堂の不満が年々増加している。原因の調査と改善の必要性を感じた。

救急医療について

- ・「お断り」理由等の原因分析はされているか。それにより今後の改善が図られる。

- ・第4期中期計画では、救急搬送受入率よりも、「救急搬送受入件数」で評価した方が良いのではないか。

災害医療について

- ・DMATやヘリポート整備には期待している。

がんの高度化について

- ・がんは非常に怖い病気。PET-CTやリニアックなど、そういうところに力を入れて、早期に発見・早期に治療していただくのは非常にありがたい。医療機器に投資していただくのは助かる。

地域連携について

- ・令和5年度逆紹介率は128.9%。中核病院として逆紹介率が非常に高いのは評価できる。

- ・地域医療の推進に大きく貢献しておられることがよくわかった。

- ・今後、さらに”良くしていく”のであれば、病診連携の更なる充実、救急体制の強化があるかと思う。

鳴門病院には、医師・スタッフの増員配置等、更なる病診連携、救急体制の充実をお願いしたい。

医療の高度化について

- ・5年も経てば医療もどんどん変化していく。例えばダヴィンチを導入するとか、医療の高度化についてしっかりしたものを作られた方がいいのではないか。

開かれた病院づくり

- ・地域の方々と共に病院を盛り立てるような催し物を考えていただけたらいいかと思う。

地域住民の健康維持

- ・病気予防として、地域住民の健康維持に貢献されている。地域への人材派遣等にも期待している。

病床運用について

- ・地域包括ケア病棟を十分に活用し、稼働率を上昇させるためには、ベッドコントロールの運用を看護部の権限とし、病院全体を見渡せ、業務量やスタッフの力量まで把握し、さらに看護部全体に指示できる職位のコントローラーの配置が必要だと考える。

- ・医師は運用に関しての意見はできる限り控えていただき、病床は各科の物ではなく病院のものという意識の徹底、どの科でも受け入れる体制を整える等により、稼働率の上昇は見込まれるのではないのでしょうか。